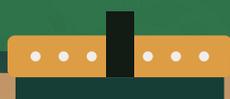


令和7年度
内閣府「事前防災対策総合推進費」事業

文化財を防災教育に 活かすための視点

—災害の記憶を伝える文化財—

令和8年3月
文化庁 文化財第二課



はじめに

文化庁は、令和7年度に内閣府の「事前防災対策総合推進費」を受けて、「遺跡・災害痕跡調査と地名・伝承の比較検証を通じた防災施策立案、防災教育推進のための調査研究事業」を実施した。

防災対策の強化、国土強靱化は我が国の喫緊の課題であり、本庁においても文化財の防災対策を主管業務として注力してきたところである。しかし、列島における人々の様々な活動の中で形作られ、継承されてきた文化財は、災害から守られるのみの存在ではなく、過去の災害や、その時に人々がとった行動、そして災害から復興を遂げた人々の歩みを物語るものでもある。つまり、災害の記憶を今に伝えるものなのである。

各地に残る様々な文化財の中から、災害と復興の歴史を読み解き発信することは、安心・安全なまちづくりだけでなく、防災意識の醸成にもつながると思われる。こうした取り組みは、これまでも例えば災害碑の収集や災害に係る史料の集成・分析等を通じて、各省庁や研究機関等が行ってきたが、様々な種類の文化財を横断的に検討し、過去の災害の姿をより具体的に復元しようとする例は限られている。また、発掘調査で確認された地滑りや噴砂等の災害痕跡は、膨大な発掘事例の蓄積がある反面、その評価・解釈が難しいため、防災や減災のための諸施策に十分に活かされているとは言い難い状況にある。

よって、本事業では、自然災害と関連する様々な種類の文化財、具体的には、これまでも関心が払われてきた地名や伝承、災害碑等に加え、発掘調査で見つかる災害痕跡(災害に係る遺跡)を総合的に検討することによって、過去の自然災害をその前後の人間の活動も含めて、具体的かつ立体的に復元し、それを防災施策立案、防災教育に活かすための方法・視点を提示することを目的とした。

調査研究事業は以下のふたつからなる。

- ①災害に係る遺跡をはじめとする文化財を防災教育等に活かすための方法を示すこと
- ②災害と関連する各種文化財を総合的に調査し、それらのデータを整理し、防災教育や防災施策に活用するモデルを構築すること

①については、人文科学、自然科学双方の学識経験者からなる「遺跡・災害痕跡調査と地名・伝承の比較検証を通じた防災施策立案、防災教育推進のための調査研究委員会」を設置し、令和7年10月から令和8年3月にかけて3回にわたり、検討を実施した。また、②については、滋賀県立大学に委託し、地震により水没した可能性がある琵琶湖湖底遺跡を対象に、調査を行った。本報告は、これらの成果を取りまとめたものである。

本報告を受けて、防災・減災という観点から文化財を調査し、また調査の成果を検討し、それを学校教育等に活かすための取組が各地で進められることを期待するものである。

最後に、検討に参加いただいた委員の皆様、資料等の提供に御協力いただいた機関等に感謝を申し上げます。

例 言

1. 本報告は、文化庁が令和7年度に内閣府の「事前防災対策総合推進費」を受けて行った「遺跡・災害痕跡調査と地名・伝承の比較検証を通じた防災施策立案、防災教育推進のための調査研究事業」の成果を取りまとめたものである。
2. 国内には、災害碑等、過去の災害を示す構築物や防災を祈念して祀られた寺社等が各地にある。また、地滑りや噴砂等の災害痕跡が発掘調査で見つかる場合も多く、これらは過去の災害の具体像を示す資料として防災教育の教材としての利用価値が高いと考えられる。本事業は、史実や災害痕跡と地名・伝承（以下「災害痕跡等」という。）との関係性を科学的に検証することで、その成果を地域の防災教育等に応用するモデルを構築することを目的とした。
3. 事業実施にあたっては、人文学、自然科学双方の学識経験者からなる「遺跡・災害痕跡調査と地名・伝承の比較検証を通じた防災施策立案、防災教育推進のための調査研究委員会」（以下「委員会」という。）を設置し、災害痕跡等を地域の防災教育の教材等に利用するために必要な、基本的事項について検討した。
4. 中でも、水中遺跡は、被災状況や災害時の人々の行動の痕跡を、そのまま留めている場合が多く、陸上の災害痕跡と比較しても、防災教育上の効果は大きいと考えられることから、①水中の災害痕跡調査と地名・伝承の比較検証→②今後同規模の災害が発生した際の被災内容の予測と対策を検討→③児童・生徒や地域住民への教育・啓発に資する教材、資料等の制作→④成果物を教育、行政の現場で活用」という一連の業務の定式化を図ることを目的に、滋賀県立大学に委託し、琵琶湖の水中遺跡を対象として調査研究を行った。
5. 本報告は3.4の成果を取りまとめたものである。また、報告の作成にあたっては、教育・啓発に資する教材としての利用を意識し、できるだけ平易な内容とするとともに、報告書の概要版として、別途、スライドを作成した。
6. なお、今回の検討および報告書の作成にあたっては、別途記した委員会の委員及びオブザーバーのほか、以下の組織、個人のお世話になった。

秋田県埋蔵文化財センター 浅間縄文ミュージアム 指宿市教育委員会 岩沼市教育委員会
江差町教育委員会 小郡市教育委員会 神奈川県教育委員会 (公財) かながわ考古学財団 北
塩原村教育委員会 京田辺市教育委員会 京都市 久留米市教育委員会 群馬県立歴史博物館
神戸市 静岡市 茅ヶ崎市教育委員会 嬬恋郷土資料館 天理市教育委員会 富山県埋蔵文化
財センター 豊岡市 長野原町教育委員会 はだの歴史博物館 兵庫県立考古博物館 福岡市
福島県教育委員会 松浦市教育委員会 盛岡市教育委員会 飯森康弘 斎藤秀樹 瀬谷今日子
(敬称略)

目次

はじめに

例言

第1部 遺跡・災害痕跡調査と地名・伝承の比較検証を通じた防災施策立案、防災教育推進のための調査研究委員会報告	1
第1章 災害の歴史と防災における文化財の役割	2
1. 日本列島と自然災害	2
2. 防災教育の重要性	2
3. 過去の災害への関心	3
寺田寅彦と防災	4
第2章 従来の災害研究と文化財	5
1. 文献史料(古文書・古記録)・絵画資料など	5
2. 災害(伝承)碑	6
3. 祭祀・信仰に係る寺社	6
4. 口碑・伝承	7
5. 地名	7
最古の災害文学—『方丈記』	8
事例集1 災害と文化財とのかかわりの例—文化財が語る災害史	9
1. 災害碑	9
災害碑を読む	10
2. 信仰と伝承・地名	11
地震の被害を描いた絵図	14
第3章 発掘調査で見つかる災害痕跡	15
1. 災害痕跡の特性	15
2. 発掘調査で見つかる様々な災害痕跡	16
第4章 発掘調査成果から災害の具体像を読み解く	20
1. 被災範囲と内容を知る	20
2. 人々の行動を読む	20
3. 土地に潜むリスクを知る	21
過去の地震への関心	23
コラム 過去の災害を防災に活かす	24
事例集2 発掘された災害痕跡の事例とそこから見えること	27
1. 火山災害1 アカホヤ噴火	27
2. 火山災害2 十和田火山の噴火と泥流に呑み込まれた村	28
3. 地震1 『日本書紀』に記された筑紫地震	29
4. 地震2 慶長伏見地震による神戸の被害—地震で壊れた古墳	30
5. 洪水 弥生集落と水害	31
6. 災害からの復興 富士山宝永噴火と耕地の再利用	32

水中に眠る災害痕跡.....	33
第5章 様々な文化財から災害の具体像を読み解くー天明三年浅間山大噴火ー.....	34
1. 天明の大噴火.....	35
2. 古文書などから分かること.....	35
3. 現地に残る災害の記憶.....	37
4. 発掘調査によって明らかになった事実.....	38
5. 発掘調査が語る災害発生時の人々の姿ー泥流に飲み込まれた村.....	39
6. 復興の記録と記憶.....	40
7. 天明浅間山噴火調べのポイント.....	41
天明浅間山噴火に関係する図書など[比較的平易なもの].....	43
コラム 災害とともに生きる.....	44
第6章 文化財を防災教育に活かす.....	49
1. 文化財を活かした防災教育.....	50
2. 過去の災害をテーマとした展覧会ー和歌山県立紀伊風土記の丘の取り組みー.....	53
3. 発掘調査成果から見た自然災害に係る図書の刊行.....	56
第2部 令和7年度委託事業報告.....	59
琵琶湖沿岸地域における地名伝承と水中遺跡.....	60
はじめに.....	60
1. 琵琶湖水中遺跡にみる災害と伝承.....	60
2. 琵琶湖水害の記録と伝承.....	65
3. 曾根沼・曾根沼水中遺跡と『近江国霸流村墾田地図』.....	68
4. 曾根沼水中遺跡の調査目的とその意義.....	72
5. 曾根沼水中調査について.....	73
6. 曾根沼湖底堆積物の調査.....	80
7. 曾根沼湖底遺跡の発掘調査.....	86
8. 曾根沼形成要因の推定.....	91
9. 災害から生まれる産業と新たな災害.....	95
10. 本研究の成果と新たなハザードマップの提案.....	103
附章1 防災教育資料についての事例と提案.....	106
附章2 本研究で用いた手法・資料について.....	108
まとめ.....	111
文化財を防災教育に活かすための提言.....	112
過去の災害に関する主な文献やデータベース.....	114
委員会設置要項.....	115
委員等名簿.....	116
検討経過.....	117